

こまつきゅうき
小松旧記

種 別 小松市指定文化財 典籍
指定年月日 平成3年11月3日
所 在 地 小松市立図書館

藩政時代、小松町には「小松町会所」という行政機関が置かれ、町人の中から家柄、才覚、人望のある者が町年寄や若年寄、^{きもいり}肝煎等に選ばれ、町政が行われていた。

小松旧記は、この小松町会所で記録・保存された文書を分類整理し、冊子としたものである。元和元年（1615）から慶応2年（1866）までの251年間、9263通の文書が集成されている。藩政期全般にわたる公文書であり、内容は2137項目に分類されている。小松町の政治、経済、文化、教育、宗教などのあらゆる事象から、町人の生活の様子が窺い知れる貴重な資料である。

この文書は、幕末、明治期の整理作業を経て、大正8年（1919）に改編されたもので、和綴本95冊に収められている。また、この95冊分を翻刻したものが、「小松史 史料篇上下」として、昭和15年（1940、市制施行年）に刊行されている。

